

令和8年2月5日（木）

保護者の皆様、地域の皆様

港区立赤羽幼稚園
園長 中村 美奈子

令和7年度 港区立赤羽幼稚園 幼稚園評価の集計結果及び改善の方向性について

日頃より本園の教育活動にご理解、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。また、12月の「幼稚園評価アンケート」にご回答いただきましてありがとうございました。

アンケートの集計結果と自由意見、1月29日に実施いたしました学校運営協議会において委員の皆様からいただいたご意見をもとに、港区立赤羽幼稚園の今後の取組についてまとめましたので、ご報告いたします。

【学校運営協議会・保護者への「幼稚園評価アンケート」項目】

評価基準 A：達成している B：概ね達成している C：あまり達成していない D：達成していない E：分からない

1	幼稚園は、経営計画、経営方針を分かりやすく伝えている。
2	園だより、学級だより、ドキュメンテーション、ホームページ・Xなどの情報で幼稚園の様子がよく分かる。
3	電話をかけたときや幼稚園を訪問した際の教職員の対応が丁寧である。
4	教職員は、PTAや地域の活動に協力的である。
5	幼稚園は、PTA活動や保護者の活動の場を大切にしている。
6	保護者や地域の協力を得て幼児が感動する体験を積み重ねている。(赤羽こどもまつり、こどもの日の会、七夕の会、お月見の会、もちつき、遠足、お楽しみ会、おはなし会など)
7	近隣保育園や地域の小学校や中学校の園児・児童・生徒との交流や施設の活用を積極的に進め、小学校以降の生活や学習につながる教育を推進している。(赤羽小学校の児童との交流や施設利用、行事の参観、芝小学校訪問、三田中学校訪問など)
8	子育て支援のための未就園児の活動に積極的に取り組んでいる。(未就園児の会「ひよっこ」、園見学、体験入園など)
9	幼児が自分から人や物などの環境に関わり、様々な体験を通して学ぶ「遊び」を大切にした教育を推進している。
10	幼児の人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にした学級づくりをしている。
11	幼児が十分に体を動かして満足感が得られるような体験ができるようにしている。(園庭、ピロティ、屋上校庭、体育館、ボルダリング等の利用、かけっこ教室、タグラグビー、なわとび教室、徒歩遠足など)
12	集団生活におけるきまりや道徳性の芽生えを身に付ける教育を推進している。(毎日の挨拶・日々の生活・剣道教室など)
13	幼児が生き物や植物等の自然と関わる活動を充実させている。(生き物との出会い・観察・採集・飼育、季節の栽培活動・収穫、自然物を活用した遊びや製作、ビオトープや畑の利用など)
14	小学校への就学を見通した教育内容として、聞くこと、話すこと、友達との関わり等を大切にした教育をしている。
15	異年齢の育ち合いや関わり合いを大切にした教育を進めている。(4歳児、5歳児の交流、1年生や5年生との交流など)
16	幼児が英語による活動等とおして自分とは異なる文化などに触れ、親しんだり、関わりを楽しんだりできるようにしている。
17	様々な行事の中で、幼児が楽しんで活動する姿やその成長が感じられる。(誕生会、赤羽こどもまつり、運動会、発表会、遠足、季節の行事、ミニコンサート、太鼓の会、剣道教室など)
18	園内研究・研修、保幼小合同研修会や三田アカデミーの研修会などを実施し、その成果を保育の充実に反映している。(園内研究テーマ「異年齢の関わりを深める活動の工夫～3年保育を見通して～」)
19	幼稚園内や園庭の清掃など環境整備が行きとどいている。
20	施設・設備の安全、維持管理のための点検や整備を計画的かつ適切に行っている。(月1回の安全点検、遊具の安全点検、修繕など)

21	幼児が安全に生活できるよう、安全指導、避難訓練、不審者対応等、安全・防災・防犯に関する取組を十分に行っている。(月1回・随時の安全指導、月1回の避難訓練、引き渡し訓練など)
22	太鼓の会や剣道教室、出前授業(投げ方教室、なわとび教室など)、赤羽小学校や近隣保育園との交流など、特色ある教育活動を推進している。

【園児への「幼稚園評価アンケート」項目 ※聞き取りにより集計】

1	幼稚園は好きですか
2	さくら組／ゆり組と一緒に遊ぶことは楽しいですか。(異年齢の関わり)
3	NTと一緒に遊ぶことや、イングリッシュタイムは好きですか。(NTとの関わり)
4	先生や友達と一緒に、マイクロスコープやiPad、電子黒板を使って遊んだことはありますか。

【学校運営協議会委員(全11名)による「幼稚園評価アンケート」集計結果の概要】

全22項目中、

※回答数7

○肯定的な評価(A評価・B評価の合計)が6名以上の項目…全22項目

学校運営協議会委員の皆様からは、概ね高い評価をいただきました。

園行事を参観していただいたり、ドキュメンテーションの一部を見ていただいたりしたことで、子供たちの活動の様子を直接見て知っていただくことができ、今年度の教育活動について、概ねご理解いただいたと捉えます。

学校運営協議会やホームページのブログやXでの発信をとおして幼稚園の教育活動を知っていただくだけでなく、日常生活の中で挨拶をするなどの経験をとおして学校運営協議会の皆様を知り関わる機会を設けます。幼稚園の教育活動を理解し協力、支援してくださる方が身近にいることを子供たち、教員、保護者がより意識できるようにしていきたいと思います。

【保護者による「幼稚園評価アンケート」集計結果の概要】

全22項目中、

○肯定的な評価(A評価・B評価の合計)が95%以上の項目…22項目

○E評価(分からない)があった項目…1項目(20)

保護者の皆様からは、概ね高い評価をいただきました。

E評価の項目(20)につきましては、日常の安全点検や修繕についてお知らせすることが少なく、分かりづらい内容だったと考えます。園では月1回の施設・設備の安全点検や日々の点検を行い、必要に応じて修繕をしています。点検結果から必要な事項については、随時子供たちに安全指導を行っています。

保護者の皆様には、幼稚園教育の中で、子供たちが感動する体験を積み重ね、様々な体験をとおして学ぶ「遊び」を大切にしていることにご理解をいただくことができたと思えます。ドキュメンテーションは、週1回を目安に配信してきたところですが、時期によっては不十分であったと振り返ります。計画的でタイムリーな配信をしていくとともに、子供たちの日々の姿から成長や課題について一緒に考えることができるように配信内容を工夫し、教育活動への理解を深めていただくことを目指してまいります。

【学校関係者評価（学校運営協議会・保護者）の集計結果と分析】

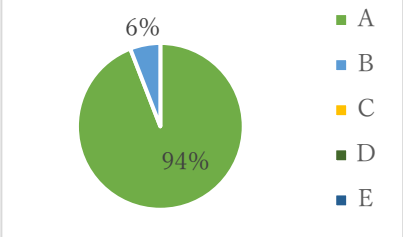
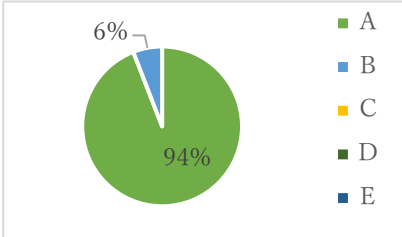
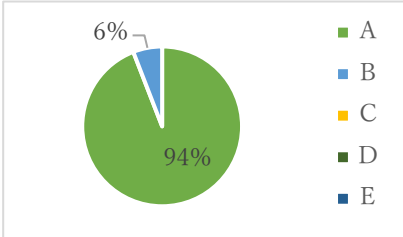
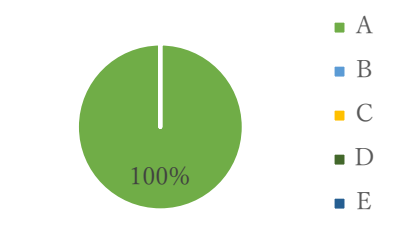
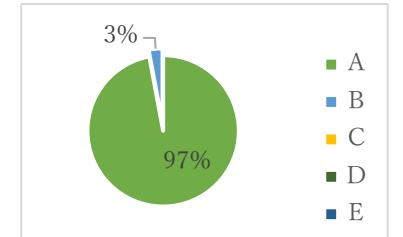
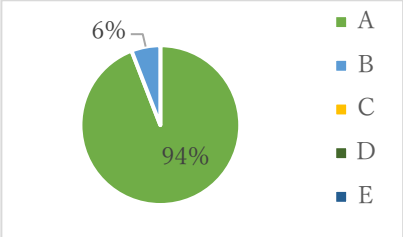
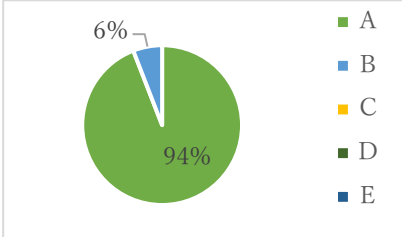
評価基準

A：達成している B：概ね達成している C：あまり達成していない D：達成していない E：わからない

4歳児さくら組 10名 5歳児ゆり組 17名 学校運営協議会 7名 合計34名

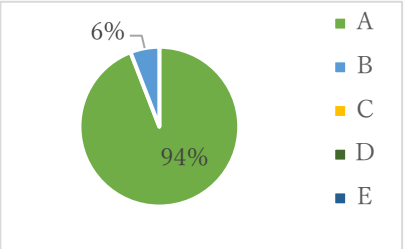
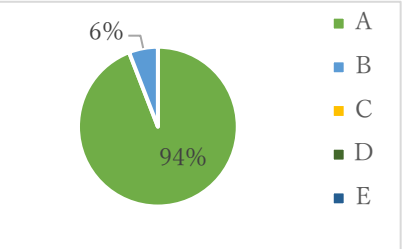
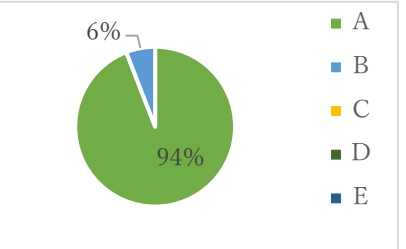
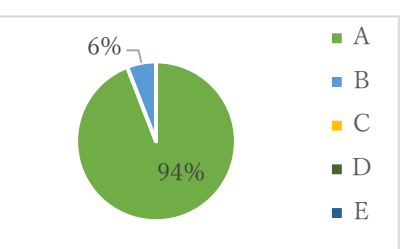
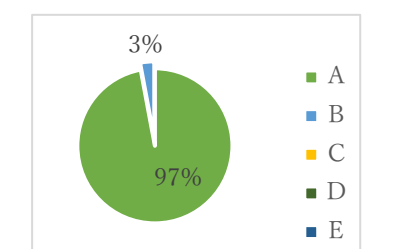
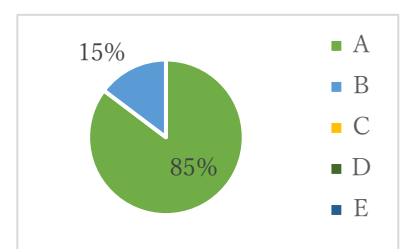
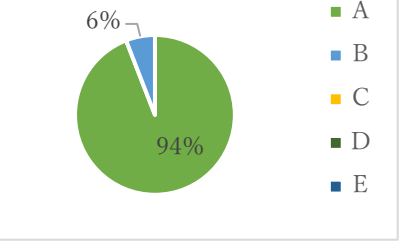
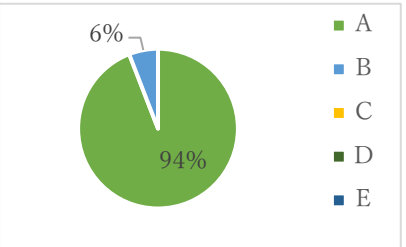
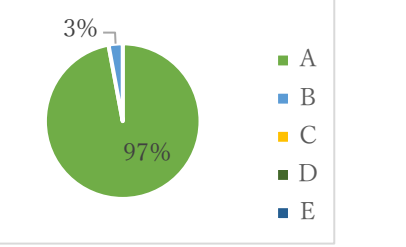
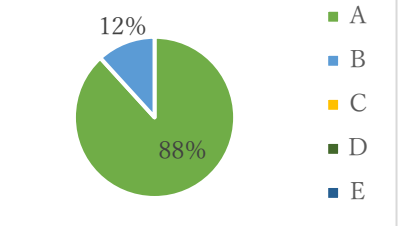
大項目		小 項 目	A	B	C	D	E
幼稚園 運営	(1)	幼稚園経営計画、経営方針を分かりやすく伝えている。	32	2	0	0	0
	(2)	園だより、学級だより、ドキュメンテーション、ホームページ・Xなどの情報で幼稚園の様子がよく分かる。	32	2	0	0	0
	(3)	電話をかけたときや幼稚園を訪問した際の教職員の対応が丁寧である。	32	2	0	0	0
	(4)	教職員は、PTAや地域の活動に協力的である。	34	0	0	0	0
	(5)	幼稚園は、PTA活動や、保護者の活動の場を大切にしている。	33	1	0	0	0
	(6)	保護者や地域の協力を得て幼児が感動する体験を積み重ねている。 (赤羽こどもまつり、こどもの日の会、七夕の会、お月見の会、もちつき、遠足、お楽しみ会、おはなし会など)	33	1	0	0	0
	(7)	近隣保育園や地域の小学校や中学校の園児・児童・生徒との交流や施設の活用を積極的に進め、小学校以降の生活や学習につながる教育を推進している。(赤羽小学校の児童との交流や施設利用、行事の参観、芝小学校訪問、三田中学校訪問など)	32	2	0	0	0
	(8)	子育て支援のための未就園児の活動に積極的に取り組んでいる。(未就園児の会「ひよっこ」、園見学、体験入園など)	32	2	0	0	0
教育内 容・指導	(9)	幼児が自分から人や物などの環境に関わり、様々な体験を通して学ぶ「遊び」を大切に教育を推進している。	32	2	0	0	0
	(10)	幼児の人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切に学級づくりをしている。	32	2	0	0	0
	(11)	幼児が十分に体を動かして満足感が得られるような体験ができるようにしている。(園庭、ピロティ、屋上校庭、体育館、ボルダリング等の利用、かけっこ教室、タグラグビー、なわとび教室、徒歩遠足など)	32	2	0	0	0
	(12)	集団生活におけるきまりや道徳性の芽生えを身に付ける教育をしている。(毎日の挨拶、日々の生活、剣道教室など)	32	2	0	0	0
	(13)	幼児が生き物や植物等の自然と関わる活動を充実させている。(生き物との出会い・観察・採集・飼育、季節の栽培活動・収穫、自然物を活用した遊びや製作、ピオトープや畑の利用など)	33	1	0	0	0
	(14)	小学校への就学を見通した教育内容として聞くこと話すこと、友達との関わり等を大切に教育をしている。	29	5	0	0	0
	(15)	異年齢の育ち合いや関わり合いを大切に教育を進めている。(4歳児、5歳児の交流、1年生や5年生との交流など)	32	2	0	0	0
	(16)	幼児が英語による活動等とおして自分とは異なる文化などに触れ、親しんだり、関わりを楽しんだりできるようにしている。	32	2	0	0	0
	(17)	様々な行事の中で、幼児が楽しんで活動する姿やその成長が感じられる。 (誕生会、赤羽こどもまつり、運動会、発表会、遠足、季節の行事、ミニコンサート、太鼓の会、剣道教室など)	33	1	0	0	0
	(18)	園内研究・研修、保幼小合同研修会や三田アカデミーの研修会などを実施し、その成果を保育の充実に反映している。(園内研究テーマ「異年齢の関わりを深める活動の工夫～3年保育を見通して～」)	30	4	0	0	0
安心・ 安全	(19)	幼稚園内や園庭の清掃など環境整備が行きとどいている。	33	1	0	0	0
	(20)	施設・設備の安全、維持管理のための点検や整備を計画的かつ適切に行っている。(月1回の安全点検、遊具の安全点検、修繕など)	31	1	0	0	1
	(21)	幼児が安全に生活できるよう、安全指導、避難訓練、不審者対応等、安全・防災・防犯に関する取組を十分に行っている。(月1回・随時の安全指導、月1回の避難訓練、引き渡し訓練など)	33	1	0	0	0
その他	(22)	太鼓の会や剣道教室、出前授業(投げ方教室、なわとび教室など)、赤羽小学校や近隣保育園との交流など、特色ある教育活動を推進している。	33	1	0	0	0

I 幼稚園運営について

(1) 幼稚園は、経営計画、経営方針を分かりやすく伝えている。	(2) 園だより、学級だより、ドキュメンテーション、ホームページ・Xなどの情報で幼稚園の様子がよく分かる。	(3) 電話をかけたときや幼稚園を訪問した際の教職員の対応が丁寧である。
		
(4) 教職員は、PTAや地域の活動に協力的である。	(5) 幼稚園は、PTA活動や保護者の活動の場を大切にしている。	(6) 保護者や地域の協力を得て幼児が感動する体験を積み重ねている。(赤羽こどもまつり、こどもの日の会、七夕の会、お月見の会、もちつき、遠足、お楽しみ会、おはなし会など)
		
(7) 近隣保育園や地域の小学校や中学校の園児・児童・生徒との交流や施設の活用を積極的に進め、小学校以降の生活や学習につながる教育を推進している。(赤羽小学校の児童との交流や施設利用、行事の参観、芝小学校訪問、三田中学校訪問など)	(8) 子育て支援のための未就園児の活動に積極的に取り組んでいる。(未就園児の会「ひよっこ」、園見学、体験入園など)	
		

・ 8項目全てにおいてA・B評価をいただきました。

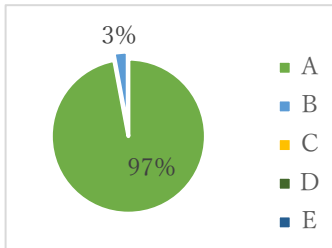
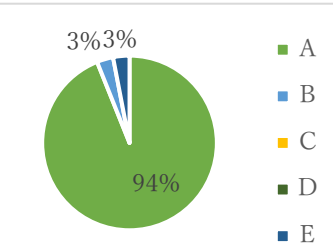
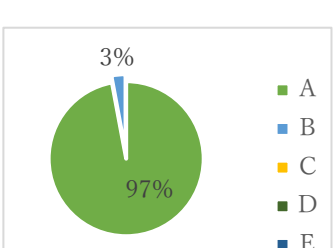
- 幼稚園がPTA活動に協力的であるという項目(4)において100%の評価をいただきました。保護者の皆様が子供たちのためにという思いで、幼稚園教育の様々な場面でお力を発揮していただいたおかげで、子供たちが様々な活動を安心して楽しく体験することができています。PTAのあり方はその時に応じて変化していくと思いますが、「できる範囲で無理なく」行う楽しいPTA活動であるように、保護者の皆様と一緒に考え進めていきたいと思っています。
- 項目(6)幼児が感動する体験を積み重ねていることについて、高評価をいただきました。今年度も地域、保護者の皆様のご協力のおかげさまで、子供たちが心を動かす体験を重ねることができました。子供たちが「楽しかった」という気持ちで一日を終え、「また明日も行きたい」幼稚園であるように、教職員一同力を尽くしてまいります。
- 項目(7)の小学校以降の生活や学習につながる教育の推進については、赤羽小学校をはじめ、三田アカデミーの小・中学校や近隣保育園の教員も子供たちも互いの存在をしっかりと感じ、親しみをもち、計画的に連携・交流をとおして学び合う関係を築いています。これからもこの関係の中で、子供たちの経験を積み重ね小学校へ学びをつなげていきます。

<p>(9) 幼児が自分から人や物などの環境に関わり、様々な体験を通して学ぶ「遊び」を大切にした教育を推進している。</p>	<p>(10) 幼児の人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切に学級づくりをしている。</p>	<p>(11) 幼児が十分に体を動かして満足感が得られるような体験ができるようにしている。(園庭、ピロティ、屋上校庭、体育館、ボルダリング等の利用、かけっこ教室、タグラグビー、なわとび教室、徒歩遠足など)</p>
		
<p>(12) 集団生活におけるきまりや道徳性の芽生えを身に付ける教育を推進している。(毎日の挨拶・日々の生活・剣道教室など)</p>	<p>(13) 幼児が生き物や植物等の自然と関わる活動を充実させている。(生き物との出会い・観察・採集・飼育、季節の栽培活動・収穫、自然物を活用した遊びや製作、ビオトープや畑の利用など)</p>	<p>(14) 小学校への就学を見通した教育内容として、聞くこと、話すこと、友達との関わり等を大切にしている。</p>
		
<p>(15) 異年齢の育ち合いや関わり合いを大切にしている。(4歳児、5歳児の交流、1年生や5年生との交流など)</p>	<p>(16) 幼児が英語による活動等をとおりて自分とは異なる文化などに触れ、親しんだり、関わりを楽しんだりできるようにしている。</p>	<p>(17) 様々な行事の中で、幼児が楽しんで活動する姿やその成長が感じられる。(誕生会、赤羽こどもまつり、運動会、発表会、遠足、季節の行事、ミニコンサート、太鼓の会、剣道教室など)</p>
		
<p>(18) 園内研究・研修、保幼小合同研修会や三田アカデミーの研修会などを実施し、その成果を保育の充実に反映している。(園内研究テーマ「異年齢の関わりを深める活動の工夫～3年保育を見通して～」)</p>	<p>・9項目中8項目において、高い評価をいただきました。 ・項目(14)はB評価が15%、(18)は、B評価が12%と、他の項目に比べ評価が低い結果となりました。</p>	
		

教育内容・指導については、全体的に高評価をいただきました。

- 今年度は、アプリでのドキュメンテーションの配信を行い、子供たちの園での活動の様子や育ちを平均週1回以上配信するようになってきました。ドキュメンテーションの配信は、遊びの中での学びや自然と関わる活動、行事をととして見られる成長などを具体的に知っていただく機会となり、項目(9)(13)(17)などの高い評価につながったと考えます。一方で、よりタイムリーな内容や、子供たちの学びや育ちの過程が見える内容の発信という視点では、改善の余地があると考えます。お伝えする内容の精査、タイムリーな配信の点で、さらによりよいドキュメンテーションを配信していけるよう努力いたします。
- 項目(16)の英語による活動については、国際理解の芽生えを育む活動を、園に週3回派遣されるネイティブティーチャーと共に計画し実施してきました。今年度は日常の英語に触れる活動だけでなく、トラベルデーやクリスマス行事など、たくさんのネイティブティーチャーと過ごす中で、世界の文化を知り、興味・関心につなげることができました。子供たちのネイティブティーチャーに対する親しみが増し、日常の中で英語に触れたりネイティブティーチャーと遊んだりし、自然に関わる姿が増えています。今後も、子供たちが世界に目を向け、興味関心をもてるように国際理解教育を推進してまいります。
- 項目(14)の、小学校への就学を見通した教育内容については、4歳児さくら組においてB評価が多い項目です。小学校就学を見通した教育は、5歳児から小学校1年生までの2年間の「架け橋期の教育」の推進が掲げられ、小学校との交流活動や就学に向けた活動については5歳児ゆり組の活動を中心に発信していることが多いため、4歳児さくら組の保護者の皆様への発信の機会が少なかったことが結果に表れたと考えます。小学校就学を見通した教育は、5歳児になって始まるのではなく、4歳児から積み重ねているものです。今の4歳児の姿が、5歳児のどんな姿につながり、5歳児の姿が就学後のどんな姿につながるのかという視点で、保護者の皆様に伝わる発信を心掛けてまいります。
- 項目(18)の研究・研修に関する項目は、高い評価でありながらも、未だ教員の研究・研修の実際やそれが子供たちの成長や学びにどのように反映しているのかを見える化する努力が必要であることを表していると考えます。園だよりやブログ、掲示等の工夫により見える化につなげていきます。

Ⅲ 安全・安心について

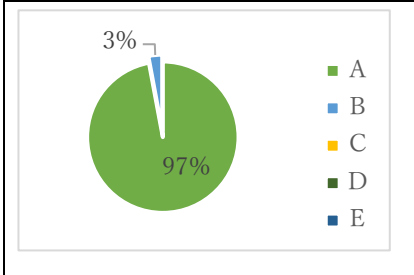
(19) 幼稚園内や園庭の清掃など環境整備が行きとどいている。	(20) 施設・設備の安全、維持管理のための点検や整備を計画的かつ適切に行っている。(月1回の安全点検、遊具の安全点検、修繕など)	(21) 幼児が安全に生活できるよう、安全指導、避難訓練、不審者対応等、安全・防災・防犯に関する取組を十分に行っている。(月1回・随時の安全指導、月1回の避難訓練、引き渡し訓練など)
		

・全体的に高評価をいただいたものの、項目(20)はE評価がありました。

- 今年度が始まるまでに、令和6年度の浸水被害を受けた園舎内外の修繕と工事が終わり、園内全ての場所を安心して使用できるようになりました。令和5年度の移転から3年、園舎は日々の清掃や施設の安全点検等により、安心・安全な環境づくりを継続しています。
- 教職員がいつ、どのように安全点検をしているのか分からないというご意見をいただきましたので、子供たちの安全な園生活のために行っている安全点検や結果について、お知らせするようになっています。
- 4月からの3年保育開始に伴い、保育室の環境や動線がこれまでとは大きく変わります。また令和8年度9月からの新園舎での生活に向けて、引っ越し作業も進めていきます。教職員と子供たちが安全に安心して過ごせるよう、引き続き環境を整えてまいります。

IV その他

(22) 太鼓の会や剣道教室、出前授業（投げ方教室、なわとび教室など）、赤羽小学校や近隣保育園との交流など、特色ある教育活動を推進している。



○赤羽幼稚園の特色である太鼓の会や剣道教室は、講師により技術を教えていただく体験をととして、礼儀作法や立ち居振る舞い、挨拶なども身に付ける機会として今後も継続していきたい活動です。回数が少ない分、日常の活動にも取り入れ、子供たちが主体的に参加できるようにしていきます。

○体力向上に向けて、様々な体の動かし方を体験する活動も取り入れてまいります。投げ方教室やかけっこ教室、縄跳び教室など、講師から、活動に応じた体や物の使い方を学び、自分なりにやってみようと挑戦し、諦めずに取り組もうとする気持ちを育み、できるようになった喜びを味わうことにつなげていきます。

○小学校併設の幼稚園である環境を生かすとともに、小学生や近隣保育園児との交流をととして、地域とのつながりや小学校就学に向けた安心感を育てていきます。

【学校運営協議会委員による自由意見】

- ・来年度、新園舎への引っ越し、3年保育の開始などご準備がとても大変とは思いますが、幼稚園にとっては素晴らしい進化の年になると思います。体調を崩されないようお体に気を付けながらご準備どうぞよろしくお願いいたします。
- ・多様な子供たち、発達段階の違う子供たちの中で、先生方はとてもよくやっていると感じます。たくさんの体験が生きていくことを願います。
- ・年少、年長の2学級、小学校の施設や環境の工夫、小学校や地域の保育園や小学校との交流など様々な工夫をしながら園生活を楽しむことができた。
- ・少人数学級で2学級の小規模園であり、仮園舎であることでの先生方の努力や工夫、子供たちや保護者、地域の方々のご理解・ご協力は並々ならぬものがあつたと思いますが、チーム赤羽小・幼稚園の工夫やチャレンジにより子供たちの素晴らしい成長が見られました。地域の皆さんのご協力や、教育活動のPR、たくさんの方たちを受け入れ発信していく日々の努力が、来年度の園児募集にも生かされたと思います。
- ・園だよりや幼稚園公開、新しい園舎や施設等の情報発信も運営委員会の方々との話し合いも新しい幼稚園づくりにむけての大切な場であり、ご努力に感謝いたします。今後の話し合いを通して、「赤羽幼稚園ならではの特色」を生かして大いに夢を語り「子供も保護者も教職員も早く行きたい幼稚園！」となりますように期待しています。

- ・お迎え時に、子供がどんなことをして楽しんでいたら、どんなことができたかなど、積極的に報告してくださるのでありがたいです。
- ・先生方がよりよい環境づくりを目指していて、安心して幼稚園に通わせることができます。(2)
- ・保育参観や普段の様子から先生方の「子供たちのために」という温かい気持ちが伝わってきます。
- ・問題があったことはありませんし、何かあればいつもすぐに対応してくださいます。
- ・幼稚園が大好きで楽しんで登園しています。(4)
- ・教育内容が充実しており、日々満足度が高いです。(2)
- ・大変素晴らしい設備、環境のもとで園生活を送らせていただいております感謝しております。
- ・いつも先生方はじめ皆さんの丁寧なご対応のおかげで娘も楽しく通う事ができています。
- ・季節の行事やイベントや他の学校との交流が盛んで毎日喜んで幼稚園に通っています。笑顔が絶えない、素晴らしい幼稚園に通わせることが出来て、親としても嬉しく思っています。
- ・季節の行事や四季を通じた作物を育てる、生き物の世話をするなど、様々なことを園で体験している事が毎日子供の様子から伝わってきます。
- ・いつも子供達に寄り添った保育をしてくださり感謝しています。色んなことを経験させてくれる、伸び伸びした赤羽幼稚園が好きです。
- ・先生方には丁寧な対応や、PTA の活動にもご協力いただき感謝の気持ちでいっぱいです。小学校との交流が赤羽幼稚園の魅力でもあるので、来年度以降も引き続き宜しくお願い申し上げます。園庭で色々栽培などしたり自然と触れ合ったりする機会も多くてありがたいです。
- ・特に行事がある時はワクワクしています。いろんなことを経験させていただき、とても充実した毎日を過ごしています。体をたくさん動かし、友達と協力して活動してし、色々な工作も作りました。先生たちの労力はとても大変なものだと思っています。
- ・様々な行事、活動を通して伸び伸びと楽しい幼稚園生活が送れていると思います。
- ・行事やイベントなどいろいろな経験をする機会があり、全て楽しく参加しているようです。
- ・子供一人ひとりが尊重され、伸び伸びと自然や生き物に触れて遊び、その日々の中で道徳性や社会性を身につけて成長していることが分かります。先生方はいつも、子供にも保護者にも寄り添ってくださいます。季節ごとのイベントも多く、子供にとって四季感を学ぶとても良い機会になっていると思います。
- ・職員内での情報共有、引き継ぎなどを細かくやっていただきたいです。
→教員や講師、介助員等職員間の情報共有は、毎日の朝会、定期的な職員会議などの時間のほか、毎日の保育後などに行い、その後の保育に生かしています。伝達漏れのないように、職員同士で声を掛け合い、細かな情報共有や引継ぎを徹底し、子供たちも保護者の皆様にも安心して園に通っていただけるようにしてまいります。
- ・コードモンの活動記録が毎週あると、更に幼稚園での日々の様子が目でも分かりとても嬉しいです。
→幼稚園での子どもたちの様子を細かくお届けできるよう、毎週ドキュメンテーションを配信することを尽力してまいります。
- ・(22) はいつどこをどの様に点検を行なっているかが分からない。
→安全・維持管理のため、月1回、幼稚園の施設・設備の安全点検を行うとともに、日常で気付いたことがあればその都度確認と修繕を行っています。安全点検の結果、必要なことは子供たちに知らせ、場や物の使い方などの指導をしています。あわせて、保護者の皆様にもお知らせしていくよう心掛けます。
- ・サポート保育のお迎えの時間に門が開いていると有り難いです。(自転車は園内に停めたいです)
→防犯上、登降園の時間のみ警備員が正門に立ち、門を開放しています。状況に応じて、サポート保育のお迎え時にも開門していることがありますが、通常時はインターホン横の扉から自転車を園内に入れて園内に停めていただきますようお願いいたします。

さくら組13名、ゆり組17名

	質問内容	さくら組			ゆり組			合 計
		はい	いいえ	分らない	はい	いいえ	分らない	
1	幼稚園は好きですか。	11	0	2	17	0	0	30
2	さくら組／ゆり組と一緒に遊ぶことは楽しいですか。(異年齢の関わり)	10	1	2	15	0	2	30
3	NT7と一緒に遊ぶことや、イングリッシュタイムは好きですか。(NTとの関わり)	11	0	2	17	0	0	30
4	先生や友達と一緒に、マイクロスコープやiPad、電子黒板を使って遊んだことはありますか。(ICTの活用)	9	2	2	15	1	1	30

1 幼稚園で楽しいことや好きなこと

<さくら組>

- ・積み木 ・電車
- ・ごっこ遊び(おうち、ねこ、ジュースやさん)
- ・園庭での遊び、鬼ごっこ
- ・好きな友達と遊ぶこと

<ゆり組>

- ・遊戯室でおうち作り(大型積み木)
- ・外遊び(砂山作り、ごっこ遊び、縄跳び)
- ・ジャンケン列車
- ・劇遊び ・体育館で遊ぶこと

2 さくら組／ゆり組と一緒に遊んで楽しいこと

<さくら組>

- ・動物ごっこ
- ・ジャンケン列車
- ・むくのきクラブ(預かり保育)での遊び

<ゆり組>

- ・体育館で遊ぶ・一緒にダンスをする
- ・ラウンドチェーン・ジャンケン列車
- ・鬼ごっこやかくれんぼ ・砂場での遊び
- ・忍者センター(さくら組の遊び)
- ・好きな子と遊ぶこと

3 NTとの活動で楽しいこと

<さくら組>

- ・ごっこ遊び(運転士、おうちごっこ、動物ごっこ)
- ・歌(バイビーシャークなど)
- ・サンタさん(行事)
- ・積み木
- ・先生が面白いから楽しい

<ゆり組>

- ・イングリッシュタイムのダンス
- ・イングリッシュタイムのゲームやクイズ
- ・砂場で一緒に遊ぶ

4 ICT機器を使ってどんなことをして遊んだことがあるか

<さくら組>

- ・音楽を聴くこと
- ・折り紙(作り方を見たことがある)

<ゆり組>

- ・マイクロスコープでいろいろなものを見た
- ・自分たちの姿を見て活動の振り返りをした

○今年度の研究内容である「異年齢の関わり」や港区の重点項目に関連するアンケートをとった。

アンケート結果から、大半の子供たちが友達や異年齢の幼児同士、またネイティブティーチャーなど身近な人と関わりの中で、親しみの気持ちや一緒に過ごす楽しさやうれしさを感じながら幼稚園生活を送っていることが読み取れる。意図的に設定する活動の中での経験は、日常生活の様々な場面での人との関わりや物との出会いにつながり、「やってみたい」「もっとやりたい」という気持ちが芽生え、主体的に活動する姿につながっていると捉えます。

国際理解の芽生えにつながる活動やICTの活用については、子供たちの生活の中で特別な活動ではなくなってきたが、具体的な意見を見ていくと改善の余地があると考えます。次年度に向けて、今年度の活動と子供たちの実態を踏まえたうえで、子供たちの好奇心や探究心につなげるための環境構成や援助を工夫し、よりよい教育活動を展開していきます。

【学校運営協議会での協議内容と今後の教育活動について】

2年目の学校運営協議会委員の皆様からの幼稚園評価は、概ね高い評価をいただきました。今年度教員が力を入れてきたドキュメンテーションの配信内容を協議会でお知らせしたり、実際に行事にご参加いただき、子供たちの姿を直接見ていただいたりしたことで、教育活動にご理解をいただけたと考えます。次年度から始まる3年保育や9月に控えている新園舎移転などを含め、令和8年度の幼稚園の教育活動や子供たちを支えていただくためにも、より分かりやすい情報発信を心掛けてまいります。

○幼稚園の入園募集と抽選、未就園児の会について

- ・幼稚園、小学校、中学校とも、定員以上の申し込みがあった場合は区役所で抽選をしています。幼稚園は学区のきまりがないため、希望された方全員を対象に抽選を行います。学区外の幼稚園に通っていると、併設や連携している小学校への入学を希望する方も多いと思うが、学区外のために人数の制限で入れない方もいるので、その接続がうまくいくとよいというご意見がありました。現在赤羽小学校は教室が足りないという問題があるが、近隣小学校の建て替え等で入学を希望する方もいて、その時の状況によって変化はあると思います。学区内の小学校に通うのが基本となりますが、幼稚園から小学校就学への円滑な接続のため、赤羽幼稚園は、研修や交流活動などをおして赤羽小学校や近隣小学校との連携をより強いものとしていけるよう努力してまいります。
- ・未就園児の会は、入園を見据えて2歳児の参加が増えている。未就園児の会に参加しているからといって抽選で必ず当選できるということではないが、抽選で落選してしまう方の思いを考えると、週に一度は遊びに来る場所があり、安心感をもっていただける場所があることはとても大事であるというご意見をいただきました。園児だけでなく未就園児親子にとっても居心地の良い安心できる幼稚園となるよう、活動内容をよりよいものにし、情報発信もこまめにしてまいります。
- ・地域コーディネーターをはじめ、地域の方に、未就園児の会や行事のポスターの掲示にご協力いただいています。幼稚園を知っていただくために、掲示をとても大切な協力と捉えていただいていることに大変感謝申し上げます。地域の中の幼稚園として、今後も幼稚園を知っていただくための発信方法を工夫してまいります。

○新園舎について

- ・新園舎は道路から見えにくく、幼稚園の存在が分かりにくいいため、看板等を用いて目で見えることで園の存在を知らせて興味をもっていただき、ホームページを見たり未就園児の会に参加したりすることにつなげていきたいと考えています。しかしながら、見えないことが防犯にもなり安心という考え方もあるというご意見をいただきました。見せる工夫と防犯の両視点で園のアピールを考えてまいります。